



第36回全国高校文芸コンクール 詩部門 優良賞

春をテーマに詩を書きたいと思ったとき、どうしても明るいイメージが湧きませんでした。私にとって、春は変化の季節です。クラスのメンバーが変わり、担任の先生が変わり、学年が上がれば求められるものも変わる。私はそれらの変化について行けず、毎年憂鬱な日々を過ごします。この詩は新入生の皆さんに向けて書いたものでした。新しい環境、新しい友達に囲まれて過ごす不安に少しでも寄りそえるようにという願いを込めました。みなさんに共感してもらえたら幸いです。2年5組 村山真子（若柳中学校出身）



東北大会、インターハイに参加して



私は先日、青森県大鰐町で開催された東北高等学校スキー大会に出場しました。大会は2日間とも天候に恵まれ、いいコンディションの中、滑ることができました。結果としては大回転競技では1本目で転倒してしまいましたが、回転競技では2本とも滑り切ることができました。コロナ禍の中大会に携わってくださった方々とサポートしてくれた方に感謝し、次の目標に向かって日々精進していき

たいと思います。2年4組 川村岳大（岩手県八幡平市安代中学校出身）

私は東北大会・インターハイに出場して、まずは無事にゴールすることができたのがよかったと思いますが、他県の選手との力の差があるのを痛感しました。スキーをする上での基礎体力や技術が足りなく、すぐに息が荒くなってしまったり、滑っているときのフォームがくずれたり課題が多く見分かりました。これからは、来期に向けて体力や技術力の向上に努め、より良い成績を残せるように頑張っていきたいです。

1年1組 遊佐眞素誠（鳴子中学校出身）



東北卓球強化合宿参加！！



ジュニアの宮城県予選を終えたときは、今までの目標だったベスト8を達成できてとても嬉しかった。今回の大会で一番苦しかった場面は、四回戦だったと思う。相手は前回の大会で負けた相手だったが、今までにない程集中し、勝つことができた。

この大会でベスト8になったため、山形で行われる東北強化合宿のメンバーに選ばれた。東北の県代表が集まっているため全員レベルが高く、私の実力では歯が立たず70人中65位という結果だった。しかしこの強化合宿を通して、とても良い刺激をもらったと思う。これからは、東北

大会やインターハイの出場を目標にさらに練習に励んでいきたい。2年4組 佐藤 匠（岩出山中学校出身）

合唱部 宮城県合唱アンサンブルコンテスト金賞受賞！

努力の先にあるもの～人の心を揺さぶる古高サウンドを目指して～

3年生の先輩方が引退し、大きく抜けた穴をどうやって埋めるか毎日手探りで大会に向けて練習していました。先輩方に頼り過ぎていたことを省み、日々の目標を明確にして基礎を徹底的に磨きました。大会前に考査や修学旅行があり時間が限られるなか、より中身の濃い練習をして学習と両立するよう努力しました。

大会当日は雪が降り、急な予定の変更などがありました。様々な事態を想定して練習し体調管理をしていたので、動揺することなく全員でしっかり本番に臨むことができました。今大会は2年ぶりに有



観客で開催され、初めて客席で聴いた他校の演奏はとても良い刺激となり、自分たちの演奏を見つめ直すことができました。本番では、個々の努力がハーモニーを紡ぎ、金賞という結果を得ました。今後もさらなる高みを目指し、支えてくださる方々に感謝の気持ちを忘れずにさらに精励していきたいです。

1年5組 遠藤紫苑（築館中学校出身）

日本学生科学賞宮城県審査 佳作受賞！



総合科学部化学班 3年は、「酸化チタンの洗濯への利用」という研究を行いました。酸化チタンは、紫外線を照射すると有機化合物を分解します。私たちはこれを洗濯に用いることができるのではないかと考え、酸化チタンが布に付着した食べ物の汚れをどの程度落とすことができるかについて、洗剤を用いたときと比較して調べました。このような賞をいただき嬉しく思います。最後に、この研究を進めるにあたりご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。3年2組 小池いちか（古川中学校出身）3年5組 高橋葉奈（三本木中学校出身）

共通テスト・一般入試直前集会！！頑張れ「古高生」

例年なら、共通テスト2日前に実施される共通テスト・一般入試直前集会でしたが、今年は新型コロナの影響で6日も前倒しされ、1月7日に第1体育館で行いました。校長先生から「不安があり、どうしてもいいか分からない人は、私を頼って校長室に来てもいいです」と励まされ、学年主任の先生から「今まで積み重ねたことを最後まで信じて」と激励の言葉を受けた後、進路指導部長の先生から受験当日の諸注意がありました。共通テストまで1週間以上ありましたが、本番直前の緊張感が少し出てきた様子でした。そして、受験生を代表し3年2組の佐々木総君（岩出山中学校出身）から「自分の力を高め、最善の力を尽くしたと言えるよう、ここにいる全員で戦いましょう」と決意表明がなされると、3年6組の平塚尚大君（不動堂中学校出身）が恒例の「だるま目入れ」を行い、前応援団長の3年2組石川稜人君（古川南中学校出身）の熱いメッセージとともに激励のエールが送られ、最後に全員で校歌を斉唱して会を終えました。集会後はいよいよ本番の戦いへと向かう受験生の姿になったようで、互いに健闘を誓う生徒も見られました。

